

# 社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごとの  
ご相談はご遠慮なくどうぞ  
会員内35-1270

## 富岡地区女性の会 愛情弁当づくり

文・富岡地区女性の会 高村 政子さん

2月23日、早朝より富岡地区女性の会の会員28名が集まり、富岡公民館において毎年恒例の愛情弁当作りを行いました。

今年の献立は、すりみハンバーグ・大根の煮物・レタスの白和え・卵焼きなど、地元の新鮮な食材を使った料理です。各班に分かれて手際よく調理します。次々と出来上がったら、デザートにいちごや、桜もち、橙ゼリーなども入れ、彩りよくお弁当に詰合せていきます。温かいうちに召し上がっていただきたいので、出来上がるとすぐに各地区の会員が、一人暮らしの高齢者のお宅を一軒ずつ届けて回ります。

「こんにちは、富岡女性の会からお弁当を届けに参りました。お変わりございませんか?」と言葉かけをしながら、元気なお姿を拝見し、近況など聞きながら手渡します。

事前にハガキで日時を連絡してありましたので、皆さん笑顔で迎えていただき、「いつもありがとうございます。富岡女性の会のお弁当毎年楽しみにしています。」と喜んでいただいております。また、「弁当を届けていただきありがとうございました。とっても美味しかったですよ。」とお礼のお電話もいただき大変ありがとうございました。

芥北町社会福祉協議会の皆様のお陰で毎年このような活動ができ、日頃交流の少ない高齢者の方々と顔を見て言葉を交わしながら交流できる愛情弁当の活動は、私達にとってもかけがえのない楽しい活動です。



## 福祉機器リサイクルコーナー

『無料』でお譲りします。



↑ ①チャイルドシート



↑ ②チャイルドシート



↑ ③ベビーカー



↑ ④子ども用イス

### ▼申込方法・締切

希望する人は、4月9日(木)までに芥北町社会福祉協議会へ電話等でご連絡ください。希望者多数の場合は、抽選になります。

抽選は、4月10日(金)午前9時から、芥北町新ふれあい館で行います。

## 芥北町社会福祉協議会からのお願い DVDデッキと液晶テレビをお譲りください

芥北町社会福祉協議会では、DVDデッキと液晶テレビ(薄型)をお譲りいただける人を探しています。

利用可能なもの(正常に作動するもの)がありましたら、芥北町社会福祉協議会へご連絡ください。



天草町下田北で、古賀家の7人兄妹(兄3人・姉1人・妹2人)の次女として生まれる。

ツルヨさんが5歳の時に父が亡くなり、母が女手一つで7人兄妹を育てていたこともあり、本当に生活が厳しく苦労をして幼少期を過ごした。

下田北小学校～新生中学校を経て、卒業後は熊本市内に働きに出た。そこでは、住み込みで昼は子守りの仕事をし、家主さんの計らいもあって夜間は九州学院校の洋裁コース(仕立て)に行かせてもらって学んでいた。仕事はちょうど4年の期間で、その間で学校の方も卒業することができた。

卒業後は天草に戻ってきて、母のすすめで、和装を個人で教えていらっしゃった先生のもとで学ぶことになった。他にも5、6人の生徒さんがいて一緒に励み、4年ほどで一人前になることができた。

月日は流れで35歳の頃、後にご主人となる康明さんの叔母がツルヨさんの自宅近くの望洋閣に勤めていたこともあって紹介をしてもらい、昭和45年9月28日に結婚となった。

ツルヨさんは、康明さんにとって後妻として嫁いだこともあって苦労は多かったが、嫁ぎ先近くの林田呉服店からの依頼もあって着物の仕立ての仕事をし、それから長きに渡り仕立てに携わった。

仕事を引退してからは、グラウンドゴルフや花の手入れを楽しみとしていたが、4年前に康明さんに先立たれて悲しみの日々を過ごす事もあった。そうした中で、ツルヨさんを癒やして元気の源となっている一番の楽しみは小学校でのラジオ体操だ。

「元気な子ども達に会えて、一緒にラジオ体操をできるのが良かとです。」

そう話されたツルヨさんは、生き生きとされていた。



▲熊本市内で仕事と勉強を  
していたツルヨさん

芥北町で、元気に生き生きと暮らしていらっしゃる  
『たっしゃかもん』を紹介します。

## 輝いています! たっしゃかもん

No.226

子ども達に会えること。  
元気な笑顔が一番です!

### にしきど 錦戸 ツルヨさん

(昭和8年5月6日生まれ) 満86歳 馬場区在住

#### 問 好きな食べ物

食べるので魚が一番良かです。魚料理では特に刺身が良かですね。

#### 問 好みの異性のタイプは

そうですねえ、俳優で歌手の里見浩太朗さんが好きですね。体格が良くて、亡くなったうちの主人(康明さん)にもちょうど感じが似ているので。

#### 問 私の健康法

今は週に1回火曜日朝7時55分から、志岐小学校にラジオ体操に近所の方と一緒に行きます。小学校で一緒にするので子ども達の顔も見れるし、先生方にも喜んでもらえます。本当に今一番の楽しみとなっています。それと、月に1回サロンの活動に参加して健康に努めています。

#### 問 思い出

小さい時から和装(着物)の仕立てが好きでした。着付けや子どもの紐解きなど、仕立て物一式を50年やっていました。基本的に正座でしないといけないので、今は膝が痛くてもうできないけど、長く携わることができたので良かったです。

#### 問若い世代へ伝えたいこと

若い人に会った時に思うのが挨拶で、自分からしてほしいですね。だけど、小学校の子ども達は私の顔を覚えてくれているということもあって、皆自分から元気良くしてくれるので気持ちがいいですね。

#### 問 町へのメッセージ

近所の方々がとても親切で、声をかけてくれたりお出かけに誘ってくれます。そして、私の方からも声をかけると返してくれる所以で本当に芥北町は良い所ですね。住めば都という言葉もありますが、皆いい人ばかりです。



ご主人(康明さん)との旅行▶